

参考

- ・ 令和元年度国土技術政策総合研究所研究評価委員会
委員からのご意見

(参考) 令和元年度 国土技術政策総合研究所 研究評価委員会
委員からのご意見

■ I 研究開発の実施・推進面

①国土交通政策の企画・立案、普及を支える研究開発

- 国際戦略は妥当である。
- 国総研の取り組みをマトリクス化・マッピング化した全体像を示して頂きたい。その上で、個別事例を紹介頂くとより理解が深まると思う。
- 国土技術政策と限定するのは仕方ないところかと思うが、例えば「交通事故」は国土交通政策だけでは解決できない課題である。交通安全教育、科警研、JARI、民間企業なども連携・役割分担が必要である。縦割り(のかきね)を低くする方向に動いて頂きたい。
- 将来的な課題として、人口減少や都市縮退への対応も重要な政策に反映すべきである。
- 今後「気候変動」が大きな課題と考えられるが、研究課題の大きな柱として国民の安全・安心に寄与する技術の研究開発に期待する。
- 国際戦略について、海外インフラ展開を意識しているのであれば、これらの活動が日本企業の海外進出にどのように役立つかを示して頂きたい。
- 国際化については、常駐の外国人研究者の受け入れなど国総研内の国際化が必要と考える。
- 部分的なK P Iの導入も検討頂きたい。

②災害・事故対応への技術的支援と対策技術の高度化

- 極めて高度な技術が導入され、今までにない多くの成果が得られており、大いに評価する。
- 社会インフラを対象にした対応であるが、対応されているインフラ以外である水道、電気、通信に関する対応との関係を整理すると有意義である。
- 迅速な被害情報に関するシステム等の開発を期待する。情報を受ける民間企業はその情報活用を進めたい。

■ II 機関運営面

⑦住宅・社会資本分野の技術研究開発を支える実験施設等の保有・機能強化

- 財政制約の中での施設の老朽化・更新の課題は大変困難な課題だが、最近の技術（I C T、A I）を活用して、高度・高機能の施設への置き換えは検討されていると思うが是非進めて頂きたい。
- 施設の必要性を一般の方へも展開し、理解を得ることが重要である。老朽化の改善、機能の強化に必須である。
- 標準の試験・性能評価をするためのフィールド・施設の寄付。
- P F I を検討してはどうか。

⑧研究成果・研究活動の効果的な発信

- 広報の仕方・媒体は様々な工夫が見られる。
- 発信情報は専門家に対する発信と、国民（ユーザー）への啓蒙は必須であると思う。この機関評価基準は、研究環境を整えていくために大変重要だと思う。
- 動画について、誰を想定した動画かが重要である。「国民」ではターゲットが広すぎるので、「小・中・高の先生」「企業」などもっと具体的にすべきと感じる。コストもかかるので、ターゲットを絞って取り組むべきである。
- 研究者紹介というような研究者個人にスポットをあてた広報をしてはどうか。「顔の見える化」により安心・信頼を得ることが出来ると思う。
- ジャーナリスト、サイエンスライターとの交流を積極的にもってはどうか。
- 年に数回マスコミ各社を招待し、国総研の取り組みをPRすることも有効である。
- 学位 or 国際資格による組織信頼度の向上に取り組んではどうか。